

隣国が支えるナショナリズム タイ＝ミャンマーをまたぐシャン人の言説を支えるもの

岡野 英之（立命館大学）

本発表で指摘するのは、ミャンマー内戦との関わりにおいて展開してきたシャン人のナショナリズム（あるいは、民族主義）の言説が、隣国タイに依拠する形でシャンの人々に共有されていることである。

シャン人は、ミャンマー連邦シャン州を中心に東南アジア大陸部に居住する民族であり、主にミャンマー、そして、その隣国タイに居住している。ミャンマーでは人口の約9%を占める最大の少数民族であり、その一部は独立（のちに自治）を訴えて武装闘争を続けている。その一方、シャン人はタイ系言語を話し、上部座仏教徒が大半を占めることから、タイでは主要民族タイ人に比較的「同化」された少数民族と位置付けられている。

ミャンマーからタイへの移民は比較的古くから見られており、その人の流れは現在でも「難民」、および、経済移民という形で続いている。いまや北タイの都市、チェンマイでは人口120万人のうち20万人がシャン人であるといわれる [Jirattikorn 2017]。

ミャンマー内戦とシャン人との関係についてはジャーナリズムや政治研究においてある程度の研究蓄積がある [Lintner 1999; South 2008]。また、人類学者アンポーン (Amporn Jirattikorn) は、タイ北部の都市チェンマイにおけるシャン人の動向に注目した論考を複数発表している。その中には、シャン人移民の多くがミャンマー側へと帰ることは考えておらず、

「永続的に越境状態」(forever transnational)であると指摘した論考や、ミャンマー側で活動をしている武装勢力がタイに住むシャン人をターゲットにしてプロパガンダ活動を実施していることを報告したものがある [Jirattikorn 2011; 2015; 2017]。本稿が論じるのは、ミャンマーとタイにまたがるシャン人のトランクナルな政治空間において政治的な言説がいかに共有されているかである。

2000年代以降のシャン人のナショナリズムには、一定の言説が共有されているように見える。その言説とは、「シャン人はビルマ人主体とする政府に裏切られ、自治権を奪われ、文化やアイデンティティさえも潰されようとしている」というものである。人類学者リサ・マリキは、タンザニアにおけるフツ人難民キャンプでの現地調査を通して、キャンプに住む難民が難民キャンプという閉鎖された空間において、ひとつの言説やアイデンティティを共有するようになったと論じている [Malkki 1995]。しかし、シャン人は「難民キャンプ」と呼べるような閉鎖的でアイデンティティや

言説を共有する空間を持っているわけではない。それにもかかわらず、広く言説が共有されているのはなぜだろうか。

発表者の調査から見えてきたのは、こうした言説を支えてきたのが、タイ側で文化・教育活動に従事するNGOや社会市民団体(Civil Society Organization: CSO)、そして、ミャンマーで解放区を有し、そこで教育サービスを提供する武装勢力だということである。発表者は2015年以降、タイ＝ミャンマー国境に関する調査を続け、2018年8～9月には北タイの都市チェンマイにおいて一か月半の現地調査を実施した。現地調査で実施したのは、シャン人の中でも「エリート」と呼びうる人々のライフヒストリーの聞き書きである。

その研究から明らかになったのは、上述の言説を支えているのは、タイで教育を受けたシャンの人々である。タイ側のNGO・CSOは、その活動の中で武装勢力のスタッフの教育にも加担している。また、ミャンマーで活動する武装勢力とタイ側のNGO・CSOの人材には流動性があり、両者の人材は行き来している。これらのことから示すのは、シャンの政治的な言説がタイにおいて再生産され、それがミャンマーのシャンの人々においても共有されていることである。

<参考文献>

Jirattikorn, Amporn

2011 Shan Virtual Insurgency and the Spectatorship of the Nation. *Journal of Southeast Asian Studies* 42 (1): 17-38

2015 55 pii kabuankan kuchat taiyai. CESD

2017 Forever Transnational: The Ambivalence of Return and Cross-border Activities of the Shan across the Thailand-Myanmar Border. *Singapore Journal of Tropical Geography* 38: 75-89.

Lintner, Bertil

1999 *Burma in Revolt: Opium and Insurgency since 1948*, Silkworm Books.

Malkki, Lisa H.

1995 *Purity and Exile: Violence, Memor, and National Cosmology among Hutu Refugees in Tanzania*, Chicago University Press.

South, Ashley

2008 *Ethnic Politics in Burma*, Routledge.

キーワード 難民、移民、ミャンマー、タイ、シャン（タイヤイ）